

第9章 精神障害者生活状況調査（家族）結果

第9章 精神障害者生活状況調査（家族）結果

1. 基本的事項

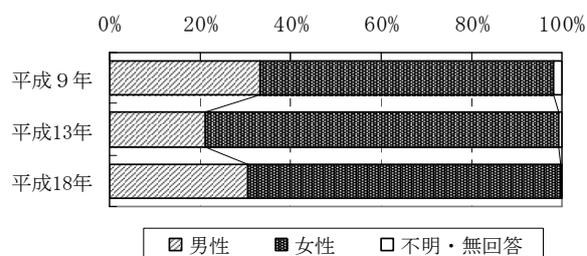
(1) 家族（最も身近にお世話されている方）の性別

問1 家族であるあなたご自身の性別をお教えてください。

- ・ 今回調査では、男性が 30.6%、女性が 68.9%となっており、女性が約 7 割を占めている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて男性の比率が高くなっており、平成 9 年調査と同様の傾向に戻っている。

問1 家族の性別

	(単位:%)		
	平成 9 年	平成13年	平成18年
男性	33.3	21.3	30.6
女性	64.6	78.0	68.9
不明・無回答	2.0	0.8	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	198	254	193



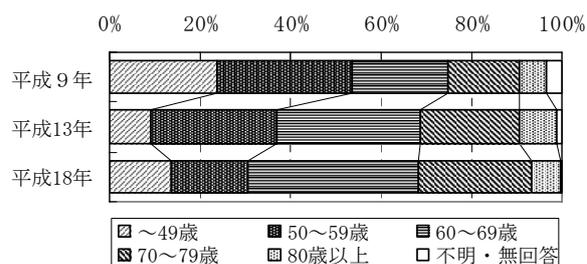
(2) 家族（最も身近にお世話されている方）の年齢

問2 家族であるあなたご自身の年齢は満何歳ですか。

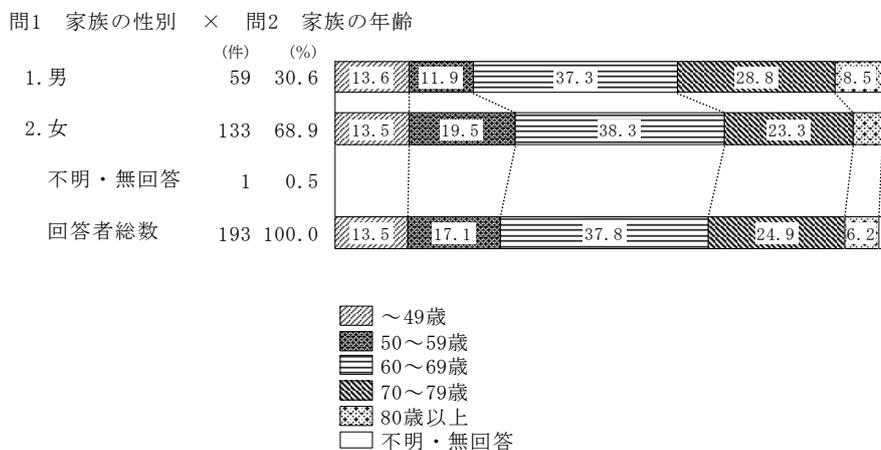
- ・ 今回調査では、「60～69 歳」が 37.8%と最も多く、次いで「70～79 歳」が 24.9%、「50～59 歳」が 17.1%と続いている。
- ・ 経年的には、「60～69 歳」や「70～79 歳」の比率が増加傾向にあり、身近にお世話をされている家族の高齢化が進んでいる。

問2 家族の年齢

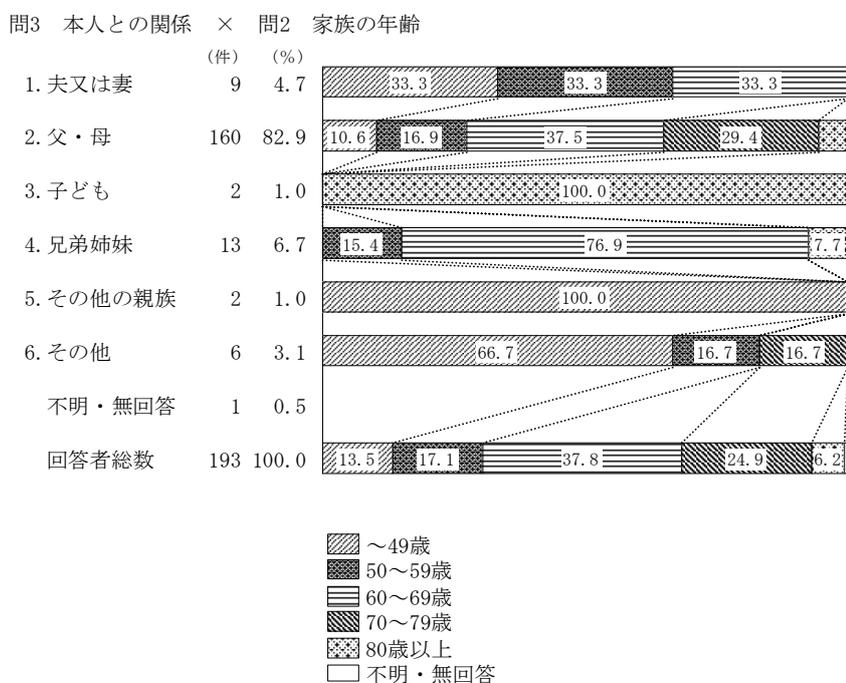
	(単位:%)		
	平成 9 年	平成13年	平成18年
～49歳	23.7	9.1	13.5
50～59歳	29.8	28.0	17.1
60～69歳	21.2	31.5	37.8
70～79歳	15.7	22.0	24.9
80歳以上	6.1	8.3	6.2
不明・無回答	3.5	1.2	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	198	254	193



- ・ 性別で見ると、女性は男性に比べて「50～59歳」の層の比率が高く、「70～79歳」の比率が低くなる傾向が見られる。

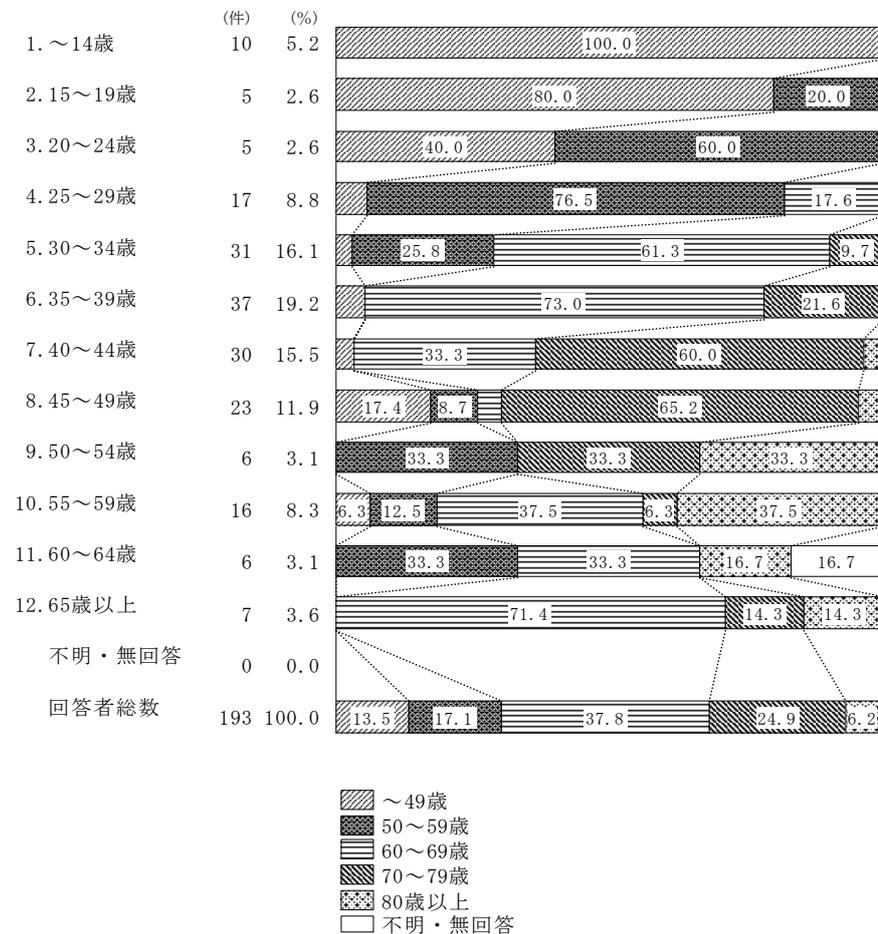


- ・ 本人との関係と家族の年齢の関係をみると、「夫又は妻」の場合は、「～49歳」、「50～59歳」、「60～69歳」に分散しているが、「父・母」の場合は、「60～69歳」、「70～79歳」の比率が高くなっている。また、「兄弟姉妹」の場合は、「60～69歳」の比率が高い。



- ・ 本人の年齢と家族の年齢の関係を見ると、当然のことながら、本人の年齢が上がるにつれて、家族の年齢も上がる傾向が見られる。

問4 本人の年齢 × 問2 家族の年齢



(3) 家族（最も身近にお世話されている方）と本人との関係

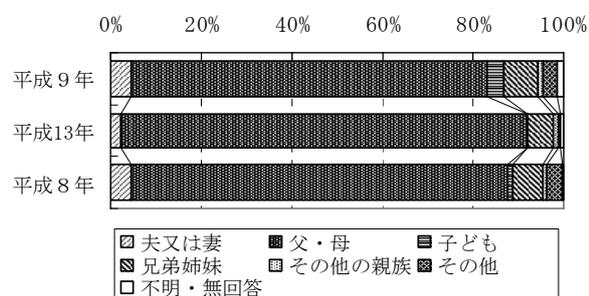
問3 ご本人との関係をお答えください。

- ・ 家族と本人の関係を見ると、今回調査では「父・母」が82.9%で最も多く、次いで「兄弟姉妹」が6.7%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、今回調査では「父・母」の比率が減少し、「兄弟姉妹」や「夫又は妻」の比率が増加している。

問3 本人との関係

(単位:%)

	平成9年	平成13年	平成18年
夫又は妻	4.5	2.4	4.7
父・母*1	78.3	89.8	82.9
子ども	4.0	0.0	1.0
兄弟姉妹	7.6	5.5	6.7
その他の親族*2	1.0	1.2	1.0
その他	3.0	0.4	3.1
不明・無回答	1.5	0.8	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	198	254	193

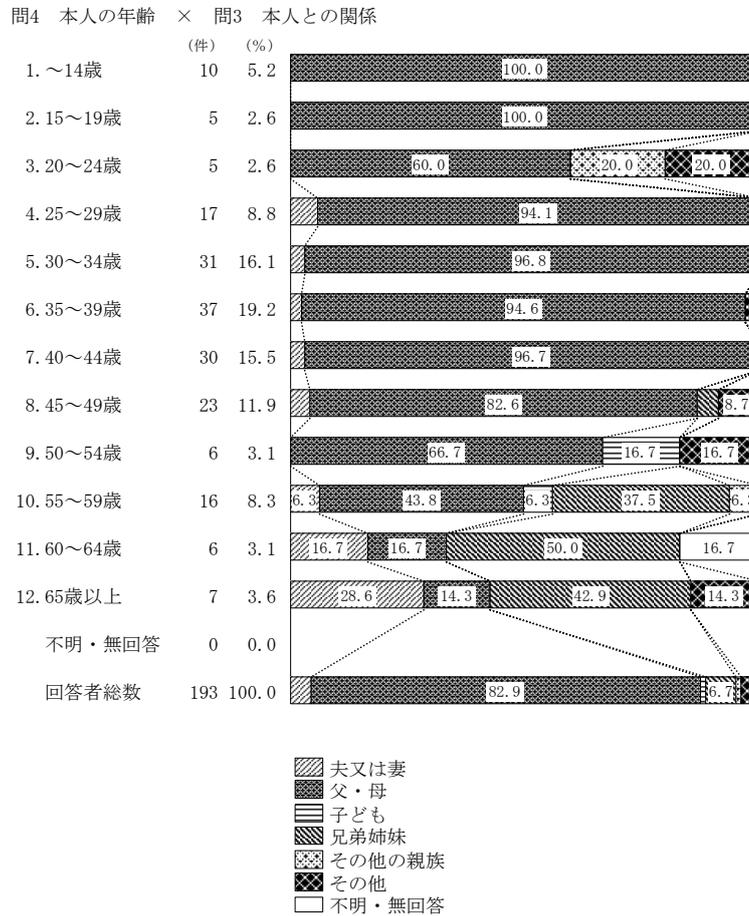


*1 平成18年以外は「父」「母」を足した数値

*2 平成9年は「兄弟姉妹の妻・夫」「祖父母」を足した数値

平成13年は「兄弟姉妹の妻・夫」「子の妻・夫」「祖父母」を足した数値

- ・ 本人の年齢と本人との関係については、55歳未満の場合は「父・母」の比率がおおむね高くなっているが、55歳以上の場合は「兄弟姉妹」の比率が高くなる傾向が見られる。



(4) 本人の年齢

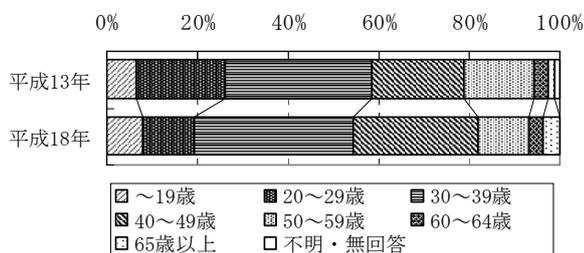
問4 ご本人の年齢は満何歳ですか。

- ・ 今回調査では、「35～39歳」が19.2%で最も多く、その前後で比率は徐々に低下する分布形状をなしている。
- ・ 前回調査と比べて、「20～29歳」の年齢層が減少し、「40～49歳」の年齢層が増加する傾向が見られる。

問4 本人の年齢

(単位:%)

	平成13年	平成18年
～14歳	4.7	5.2
15～19歳	1.6	2.6
20～24歳	4.7	2.6
25～29歳	15.0	8.8
30～34歳	18.5	16.1
35～39歳	14.2	19.2
40～44歳	13.8	15.5
45～49歳	6.3	11.9
50～54歳	12.2	3.1
55～59歳	3.5	8.3
60～64歳	2.8	3.1
65歳以上	1.6	3.6
不明・無回答	1.2	0.0
合計	100.0	100.0
N	254	193



(5) 入院の状況

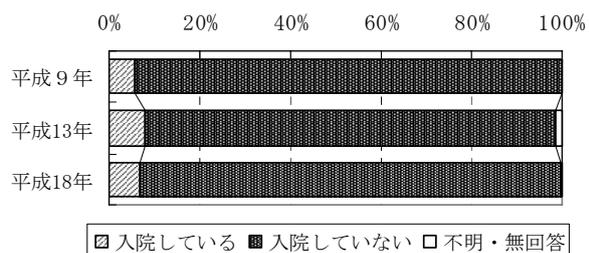
問5 ご本人は現在入院されていますか。

- ・ 今回調査では「入院していない」が92.7%、「入院している」が6.7%となっている。
- ・ 経年的な傾向に大きな変化は見られない。

問5 入院の状況

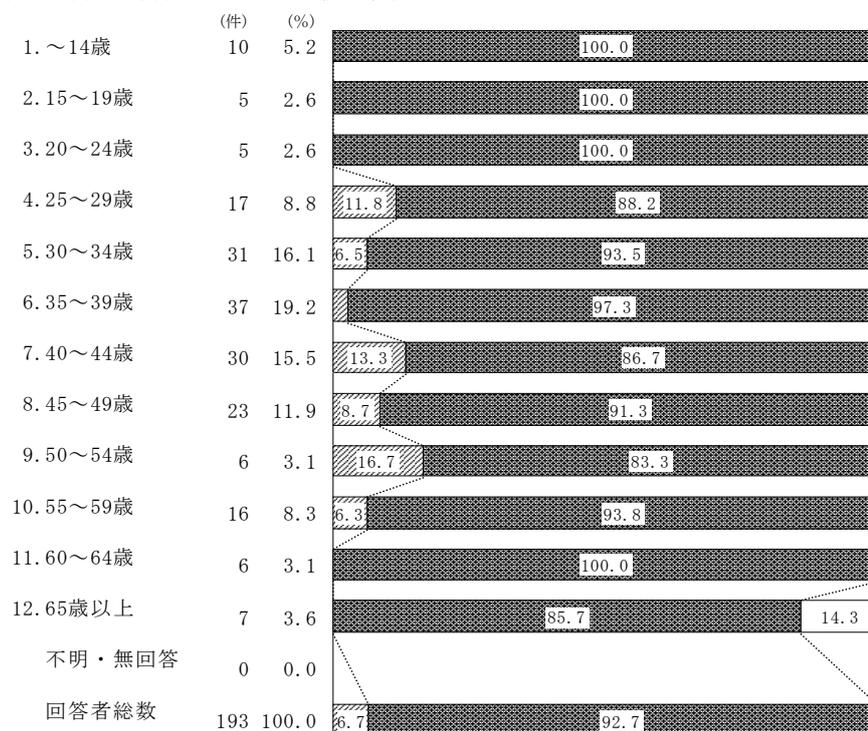
(単位:%)

	平成9年	平成13年	平成18年
入院している	5.6	7.9	6.7
入院していない	94.4	90.6	92.7
不明・無回答	—	1.6	0.5
合計	100.0	100.0	100.0
N	198	254	193



- ・ 本人の年齢と入院の状況については、特に明確な傾向は見られない。

問4 本人の年齢 × 問5 入院の状況



入院している
 入院していない
 不明・無回答

2. 生活の状況

(1) 地域生活をする上で必要な支援

問6 次にあげるもののうち、ご本人が地域で生活していくうえで必要とするものはどれですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「親身になって相談にのってくれる職員」が 62.7%、「いつでも診察してくれる病院・診療所」が 60.6%、「話し相手・相談仲間」が 57.0%などとなっており、これらの比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、いずれもこの3項目が上位3位を占めており、特に変化は見られない。

問6 地域生活をする上で必要な支援（複数回答3）*

	(単位:%)		
	平成9年	平成13年	平成18年
話し相手・相談仲間	63.1	56.7	57.0
親身になって相談にのってくれる職員	61.6	66.5	62.7
いつでも診察してくれる病院・診療所	49.0	61.0	60.6
ショートステイ	37.9	38.6	25.4
訪問看護ステーションや訪問看護サービス	18.7	25.6	9.3
日常生活支援サービス（ホームヘルプサービス）	27.3	42.1	17.6
住まいの場	-	-	18.1
生活支援員	-	-	19.7
特にない	3.5	1.2	4.1
その他 *1	51.0	53.1	5.7
不明・無回答	-	9.8	0.5
合計	312.1	354.7	280.8
N	198	254	193

* 平成18年以外は、あてはまるものをすべて選択

*1 平成18年以外は、「いつでも相談できる電話相談機関」と「自宅へ弁当を配達してくれる食事サービス」を含む

- ・ 本人の年齢別では、どの年代層の場合も、おおむね「親身になって相談にのってくれる職員」、「いつでも診察してくれる病院・診療所」などの比率が高くなっている。

問4 本人の年齢 × 問6 地域生活をする上で必要な支援（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問6		地域生活をする上で必要な支援（複数回答3）										不明・無回答	回答者総数
問4	1. 話し相手・相談仲間	2. 親身になって相談にのってくれる職員	3. いつでも診察してくれる病院・診療所	4. ショートステイ	5. 訪問看護ステーションや訪問看護サービス	6. 日常生活支援サービス（ホームヘルプサービス）	7. 住まいの場	8. 生活支援員	9. 特にない	10. その他			
本人の年齢	1. ～14歳	3 30.0	5 50.0	9 90.0	3 30.0	0 0.0	3 30.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	3 30.0	0 0.0	10 100.0
	2. 15～19歳	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
	3. 20～24歳	2 40.0	2 40.0	4 80.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	5 100.0
	4. 25～29歳	9 52.9	11 64.7	11 64.7	7 41.2	0 0.0	1 5.9	3 17.6	4 23.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	17 100.0
	5. 30～34歳	18 58.1	17 54.8	19 61.3	9 29.0	5 16.1	3 9.7	7 22.6	7 22.6	1 3.2	3 9.7	0 0.0	31 100.0
	6. 35～39歳	25 67.6	27 73.0	19 51.4	10 27.0	3 8.1	3 8.1	6 16.2	6 16.2	8.1	2.7	0 0.0	37 100.0
	7. 40～44歳	19 63.3	23 76.7	20 66.7	6 20.0	3 10.0	4 13.3	4 13.3	4 13.3	3.3	1 3.3	0 0.0	30 100.0
	8. 45～49歳	17 73.9	14 60.9	14 60.9	5 21.7	1 4.3	4 17.4	4 17.4	3 13.0	1 4.3	3 13.0	0 0.0	23 100.0
	9. 50～54歳	3 50.0	1 16.7	4 66.7	2 33.3	2 33.3	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0
	10. 55～59歳	6 37.5	12 75.0	10 62.5	1 6.3	3 18.8	6 37.5	2 12.5	5 31.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16 100.0
	11. 60～64歳	5 83.3	4 66.7	3 50.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
	12. 65歳以上	1 14.3	4 57.1	3 42.9	3 42.9	0 0.0	3 42.9	1 14.3	3 42.9	1 14.3	0 0.0	0 0.0	7 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答者総数	110 57.0	121 62.7	117 60.6	49 25.4	18 9.3	34 17.6	35 18.1	38 19.7	8 4.1	11 5.7	1 0.5	193 100.0	

(2) ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

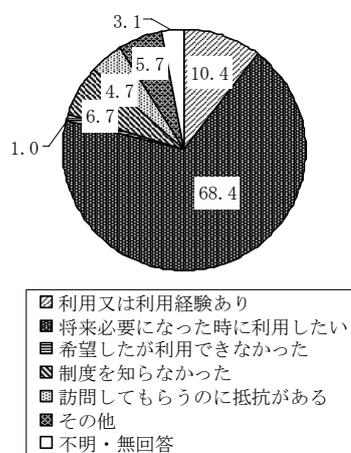
7 利用状況

問7 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用についておたずねします。ご本人はホームヘルプサービスを利用されたことがありますか。

- ・「利用又は利用経験あり」が10.4%と約1割を占めている。「将来必要になった時に利用したい」は68.4%と全体の約7割を占めている。

問7 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況
(単位:%)

	平成18年
利用又は利用経験あり	10.4
将来必要になった時に利用したい	68.4
希望したが利用できなかった	1.0
制度を知らなかった	6.7
訪問してもらうのに抵抗がある	4.7
その他	5.7
不明・無回答	3.1
合計	100.0
N	193



イ ホームヘルパーに手伝ってほしいこと

問8-1 「問6」で、「6. ホームヘルパーが自宅に来て、掃除や調理を手伝ってくれる日常生活支援サービス」とお答えの方) ホームヘルパーに手伝ってほしいことは何ですか。主なものを3つまでお答えください。

- ・「食事の支度」が61.8%で最も多く、次いで「部屋の掃除・整理整頓」が52.9%となっており、この2項目の比率が特に高い。これら以外の項目では、「外出の同行もしくは介助」が32.4%、「話し相手」が29.4%、「余暇の過ごし方への助言」が23.5%などと続いている。

問8-1 ホームヘルパーに手伝ってほしいこと〈複数回答3〉

	(単位:%) 平成18年
身体の介助	8.8
食事の支度	61.8
部屋の掃除・整理整頓	52.9
衣類の洗濯	17.6
外出の同行もしくは介助	32.4
金銭の管理支援	11.8
服薬や健康管理への支援	11.8
近所づきあいの助言・支援	14.7
話し相手	29.4
余暇の過ごし方への助言	23.5
不明・無回答	5.9
合計	270.6
N	34

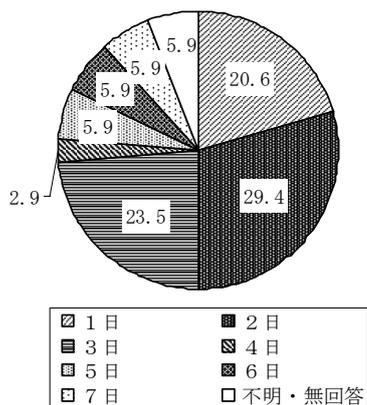
ウ ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数

問8-2 「問6」で、「6. ホームヘルパーが自宅に来て、掃除や調理を手伝ってくれる日常生活支援サービス」とお答えの方) ホームヘルパーを1週間のうち何日利用したいですか。

- ・ 今回調査では、「2日」が29.4%で最も多く、「3日」が23.5%、「1日」が20.6%と続いている。
- ・ 前回調査とは選択肢が異なっているが、比較可能な選択肢を見ると“2～3日”で15.5ポイントの増加，“4～5日”で1.3ポイントの増加，“6～7日”で9.0ポイントの増加となっている。「1日」においては6.5ポイントの低下となっている。前回調査よりも利用希望日数は多くなっている。

問8-2 ホームヘルパーの1週間当たりの利用希望日数
(単位:%)

	平成13年	平成18年
1ヶ月に1回*1	8.4	-
1ヶ月に2回*1	11.2	-
1ヶ月に3回*1	4.7	-
1日	27.1	20.6
2日*2	37.4	29.4
3日*2		23.5
4日*3	7.5	2.9
5日*3		5.9
6日*4	2.8	5.9
7日*4		5.9
不明・無回答	0.9	5.9
合計	100.0	100.0
N	107	34



- *1 平成18年削除項目
- *2 平成13年は「1週間に2～3回」
- *3 平成13年は「1週間に4～5回」
- *4 平成13年は「ほぼ毎日」

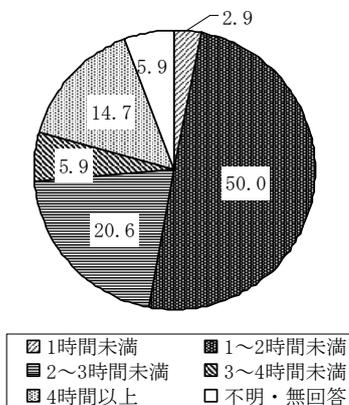
I ホームヘルパーの利用希望時間数

問8-3（「問6」で、「6. ホームヘルパーが自宅に来て、掃除や調理を手伝ってくれる日常生活支援サービス」とお答えの方）ホームヘルパーを1日に何時間利用したいですか。

- ・ 今回調査では、「1～2時間未満」が50.0%で最も多く、次いで「2～3時間未満」が20.6%、「4時間以上」が14.7%、「3～4時間未満」が5.9%などと続いている。
- ・ 前回調査との比較では、「1時間未満」が22.3ポイントの減少、「1～2時間未満」が2.3ポイント増加、「3時間以上」で11.3ポイント増加となっており、全体的に利用希望時間数は増加している。

問8-3 ホームヘルパーの利用希望時間数
(単位:%)

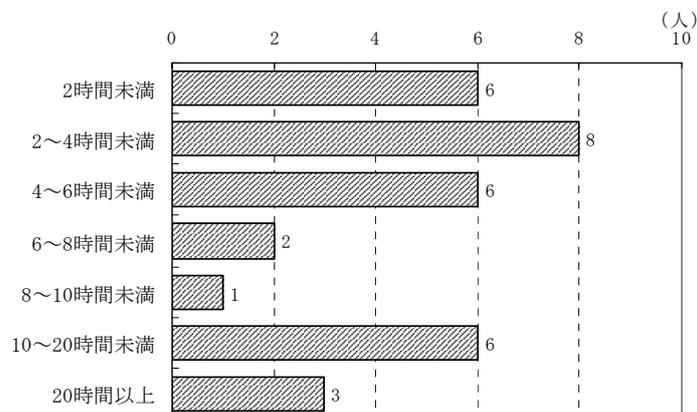
	平成13年	平成18年
1時間未満*1	25.2	2.9
1～2時間未満	47.7	50.0
2～3時間未満	16.8	20.6
3～4時間未満*2	9.3	5.9
4時間以上*2		14.7
不明・無回答	0.9	5.9
合計	100.0	100.0
N	107	34



*1 平成13年は「30分未満」「30分～1時間未満」を足した数値
*2 平成13年は「3時間以上」

- ・ 1週間当たりの利用希望延べ時間分布では、全体的に該当者が少なく参考扱いとなるが、6～10時間未満や20時間以上の利用希望者数が少なく、それ以外の時間数の利用者が6～8人となっている。

ホームヘルパーの利用希望延べ時間分布（週当たり）



(3) 家族と同居できない場合の居住地

問9 ご本人が、ご家族と一緒に暮らせなくなったとき、次にあげる生活の場のうち、ふさわしいと思われるのはどれですか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設」が 45.6%で最も多く、次いで「老人ホームなどの施設」が 40.9%、「介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）」が 39.4%、「自宅」が 38.9%、「一人暮らしのアパート・公営住宅など」が 20.7%などとなっている。全体的には希望が多岐にわたっている。

問9 家族と同居できない場合の居住地（複数回答2）

	平成18年
自宅	38.9
一人暮らしのアパート・公営住宅など	20.7
共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設	45.6
介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	39.4
老人ホームなどの施設	40.9
その他	2.6
不明・無回答	1.0
合計	189.1
N	193

- ・ 家族の年齢別で見ると、「共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設」や「介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）」では、「50～59歳」の層が最も多く、年齢層が上がるにつれて希望する人の比率は低下している。その一方で、「自宅」、「老人ホームなどの施設」では、年齢層が上がるにつれて希望する人の比率は増加している。

問2 家族の年齢 × 問9 家族と同居できない場合の居住地（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問2 家族の年齢	問9 家族と同居できない場合の居住地（複数回答2）							回答者総数
	1. 自宅	2. 一人暮らしのアパート・公営住宅など	3. 共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設	4. 介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	5. 老人ホームなどの施設	6. その他	7. 不明・無回答	
1. 1～49歳	9 34.6	5 19.2	13 50.0	11 42.3	8 30.8	1 3.8	0 0.0	26 100.0
2. 50～59歳	10 30.3	6 18.2	22 66.7	17 51.5	8 24.2	0 0.0	0 0.0	33 100.0
3. 60～69歳	29 39.7	15 20.5	30 41.1	31 42.5	34 46.6	2 2.7	1 1.4	73 100.0
4. 70～79歳	21 43.8	8 16.7	20 41.7	14 29.2	22 45.8	2 4.2	1 2.1	48 100.0
5. 80歳以上	6 50.0	5 41.7	3 25.0	3 25.0	6 50.0	0 0.0	0 0.0	12 100.0
不明・無回答	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
回答者総数	75 38.9	40 20.7	88 45.6	76 39.4	79 40.9	5 2.6	2 1.0	193 100.0

- ・ 本人の年齢別では、50歳未満では「共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設」の比率が高く、50歳以上では「老人ホームなどの施設」の比率が高くなっている。

問4 本人の年齢 × 問9 家族と同居できない場合の居住地（複数回答2）

上段：実数（件）
下段：構成比（%）

問9		家族と同居できない場合の居住地（複数回答2）							回答者総数
問4	1. 自宅	2. 一人暮らしのアパート・公営住宅など	3. 共同生活を行い、介護や生活支援を行う施設	4. 介護を受けながら生活できる施設（施設入所支援）	5. 老人ホームなどの施設	6. その他	7. 不明・無回答		
本人の年齢	1. 1～14歳	4 40.0	1 10.0	4 40.0	4 40.0	4 40.0	1 10.0	0 0.0	10 100.0
	2. 15～19歳	2 40.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
	3. 20～24歳	0 0.0	1 20.0	4 80.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 100.0
	4. 25～29歳	5 29.4	4 23.5	13 76.5	9 52.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	17 100.0
	5. 30～34歳	11 35.5	6 19.4	15 48.4	11 35.5	10 32.3	3 9.7	0 0.0	31 100.0
	6. 35～39歳	17 45.9	12 32.4	15 40.5	10 27.0	17 45.9	0 0.0	0 0.0	37 100.0
	7. 40～44歳	16 53.3	4 13.3	13 43.3	12 40.0	12 40.0	0 0.0	1 3.3	30 100.0
	8. 45～49歳	9 39.1	6 26.1	10 43.5	6 26.1	9 39.1	1 4.3	1 4.3	23 100.0
	9. 50～54歳	4 66.7	1 16.7	2 33.3	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
	10. 55～59歳	5 31.3	3 18.8	5 31.3	7 43.8	11 68.8	0 0.0	0 0.0	16 100.0
	11. 60～64歳	2 33.3	1 16.7	2 33.3	4 66.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
	12. 65歳以上	0 0.0	0 0.0	2 28.6	6 85.7	6 85.7	0 0.0	0 0.0	7 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答者総数	75 38.9	40 20.7	88 45.6	76 39.4	79 40.9	5 2.6	2 1.0	193 100.0	

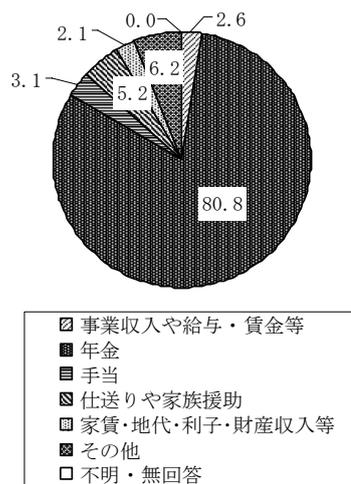
(4) 家族と同居できない場合の収入

問10 ご家族と一緒に暮らせなくなったときの、ご本人の主な収入は何ですか。

- ・「年金」が80.8%で最も多くなっている。その他の項目は数%と少ない。

問10 家族と同居できない場合の収入

	平成18年
事業収入や給与・賃金等	2.6
年金	80.8
手当	3.1
仕送りや家族援助	5.2
家賃・地代・利子・財産収入等	2.1
その他	6.2
不明・無回答	0.0
合計	100.0
N	193



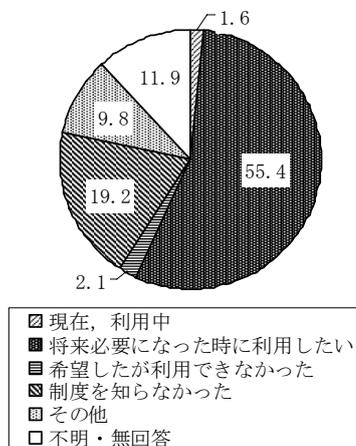
(5) 成年後見制度の利用状況

問11 成年後見制度についておたずねします。現在ご本人は、成年後見制度を利用されていますか。

- ・「現在、利用中」が1.6%、「将来必要になった時に利用したい」が55.4%、「制度を知らなかった」が19.2%と続いている。

問11 成年後見制度の利用状況

	平成18年
現在、利用中	1.6
将来必要になった時に利用したい	55.4
希望したが利用できなかった	2.1
制度を知らなかった	19.2
その他	9.8
不明・無回答	11.9
合計	100.0
N	193



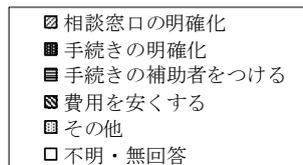
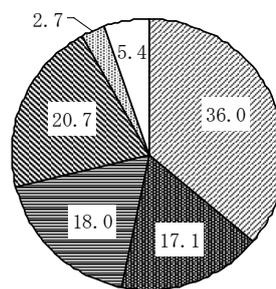
(6) 成年後見制度を利用しやすくする方策

問12-1 「問11」で成年後見制度について「2. 将来、必要になった時に利用したい」「3. 利用を希望したが利用できなかった」とお答えの方) どのようにすれば利用しやすくなると思いますか。

- ・「相談窓口の明確化」が 36.0%で最も多く、次いで「費用を安くする」が 20.7%、「手続きの補助者をつける」が 18.0%、「手続きの明確化」が 17.1%などと続いている。

問12-1 成年後見制度を利用しやすくする方策
(単位:%)

	平成18年
相談窓口の明確化	36.0
手続きの明確化	17.1
手続きの補助者をつける	18.0
費用を安くする	20.7
その他	2.7
不明・無回答	5.4
合計	100.0
N	111



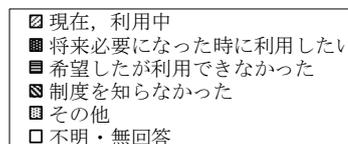
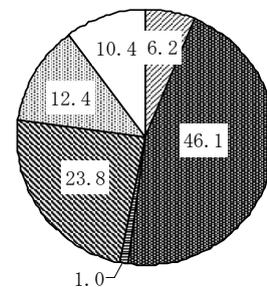
(7) 地域福祉権利擁護事業の利用状況

問13 地域福祉権利擁護事業（福祉サービス利用援助事業）についておたずねします。
現在ご本人は、地域福祉権利擁護事業を利用されていますか。

- ・「現在、利用中」が 6.2%、「将来必要になった時に利用したい」が 46.1%、「制度を知らなかった」が 23.8%などとなっている。

問13 地域福祉権利擁護事業の利用状況
(単位:%)

	平成18年
現在、利用中	6.2
将来必要になった時に利用したい	46.1
希望したが利用できなかった	1.0
制度を知らなかった	23.8
その他	12.4
不明・無回答	10.4
合計	100.0
N	193



3. 仕事や活動の状況

(1) 最適だと思われる就労形態

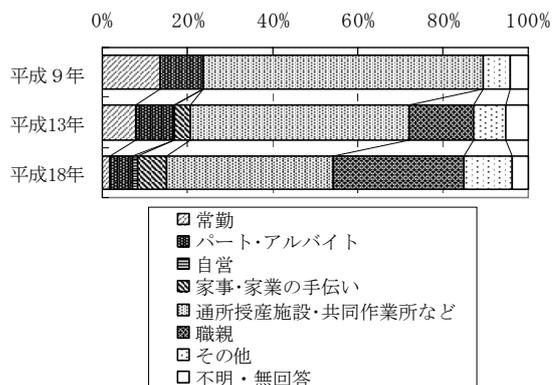
問14 ご本人はどのような仕事が向いていると思われますか。主なものを1つお答えください。

- ・ 今回調査では、「通所授産施設・共同作業所など」が39.4%で最も多く、「職親」が30.6%となっており、この両者の比率が高くなっている。
- ・ 経年的には、質問項目の違いがあるものの、前回調査と比較すると「通所授産施設・共同作業所など」の比率が低下し、「職親」の比率が増加する傾向が見られる。

問14 最適だと思われる就労形態

(単位:%)

	平成9年	平成13年	平成18年
常勤	13.6	7.9	2.1
パート・アルバイト	10.1	9.1	5.2
自営	-	0.0	1.0
家事・家業の手伝い	-	3.9	6.7
通所授産施設・共同作業所など*1	65.7	51.2	39.4
職親	-	15.0	30.6
その他*2	6.5	7.9	11.4
不明・無回答	4.0	5.1	3.6
合計	100.0	100.0	100.0
N	198	254	193



*1 平成9年は「福祉工場」「通所授産施設」「共同作業所」

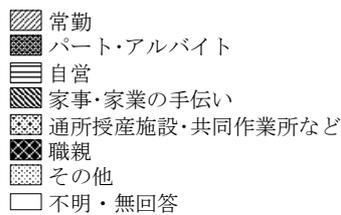
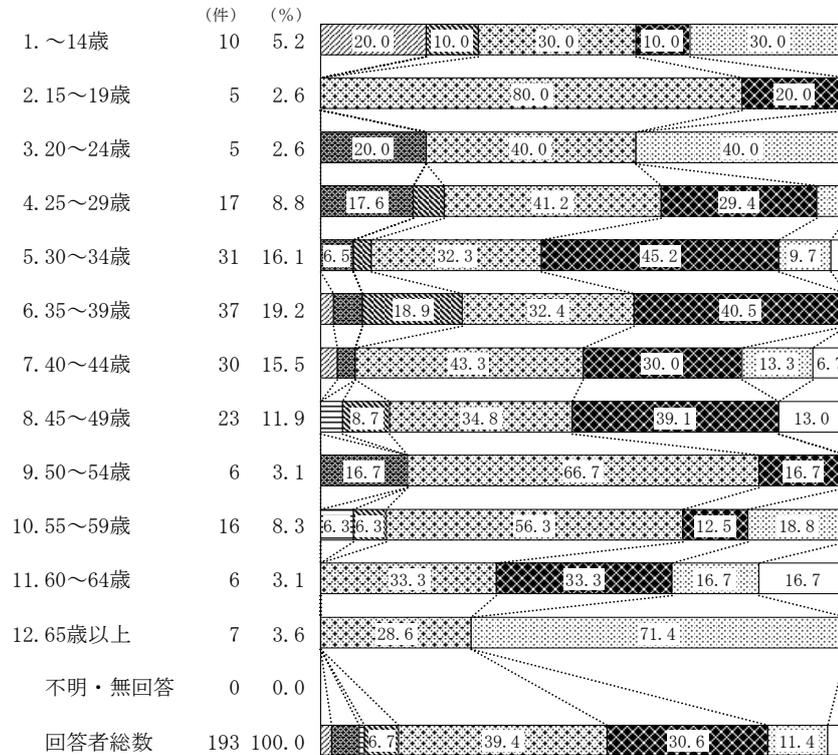
「高等技術専門学校」「職業訓練施設・訓練事業所」を足した数値

平成13年は「福祉工場」「通所授産施設」「共同作業所」を足した数値

*2 平成18年以外は「とくにふさわしいものはない」を含む。

- ・ 本人の年齢別では、“25～49 歳”では、「通所授産施設・共同作業所など」や「職親」の比率がいずれも高くなっている。

問4 本人の年齢 × 問14 最適と思われる就労形態



(2) 日中の過ごし方

問15 ご本人は、日中どのように過ごしておられますか。主なものを2つまでお答えください。

- ・ 「通所授産施設，共同作業所に通所」が 39.4%で最も多く，「精神保健福祉サービスは利用せず」が 27.5%，「デイ・ケアに参加」が 20.7%などとなっている。なお「その他」が 35.2%を占めるが，「その他」の具体的内容としては，「どこにも行っていない（引きこもり）」，「入院中」，「学校」，「ブラブラしている」などの記述が見られた。

問15 日中の過ごし方〈複数回答2〉

(単位:%)

	平成18年
デイ・ケアに参加	20.7
グループ活動に参加	6.2
障害者地域生活支援センターに通所	13.5
こころのふれあい交流サロンに参加	9.8
通所授産施設，共同作業所に通所	39.4
精神保健福祉サービスは利用せず	27.5
その他	35.2
不明・無回答	3.6
合計	156.0
N	193

(3) 家族の苦勞

問16 最近1年間に家族として、つぎのようなご苦勞がありましたか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「将来の見通しが立てられない」が 67.4%、「心身の疲れ」が 52.8%となっており、この両者の比率が特に高くなっている。
- ・ 経年的には、選択可能な選択肢数の変更による影響が見られ、多くの項目で比率の低下が見られるが、前回調査と比較して「心身の疲れ」、「将来の見通しが立てられない」、「服薬の継続」については比率の増加が見られる。

問16 家族の苦勞〈複数回答3〉*

	(単位:%)		
	平成9年	平成13年	平成18年
社会の誤解や偏見	26.3	31.9	18.7
働く場や訓練の場所がない	35.4	35.4	23.8
住宅条件	9.6	10.2	6.2
自由になる時間が持てない	22.7	20.5	17.6
心身の疲れ	45.5	40.6	52.8
近所付き合い	14.1	19.7	6.7
将来の見通しが立てられない	70.2	64.2	67.4
病状の急変	21.2	24.0	17.6
服薬の継続	23.7	18.9	21.2
乱暴な言動	15.2	17.7	9.3
自傷、自殺などの心配	12.6	10.6	7.8
とくになし	7.1	9.4	7.3
その他	11.6	7.5	6.7
不明・無回答	-	3.5	3.6
合計	315.2	314.2	266.8
N	198	254	193

* 平成18年以外は、あてはまるものをすべて選択

第9章 精神障害者生活状況調査（家族）結果

- ・ 家族の年齢別では、どの年齢層においても「将来の見通しが立てられない」と「心身の疲れ」を挙げる人が多くなっている。

問2 家族の年齢 × 問16 家族の苦勞（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問2	問16	家族の苦勞（複数回答3）													回答者総数	
		1. 社会の誤解や偏見	2. 働く場や訓練の場所がない	3. 住宅条件	4. 自由になる時間が持てない	5. 心身の疲れ	6. 近所付き合い	7. 将来の見通しが立てられない	8. 病状の急変	9. 服薬の継続	10. 乱暴な言動	11. 自傷、自殺などの心配	12. とくになし	13. その他		
家族の年齢	1. ~49歳	2 7.7	1 3.8	0 0.0	7 26.9	16 61.5	0 0.0	21 80.8	9 34.6	7 26.9	0 0.0	4 15.4	0 0.0	0 0.0	1 3.8	26 100.0
	2. 50~59歳	5 15.2	9 27.3	1 3.0	10 30.3	17 51.5	2 6.1	22 66.7	7 21.2	5 15.2	6 18.2	2 6.1	0 0.0	1 3.0	2 6.1	33 100.0
	3. 60~69歳	16 21.9	18 24.7	7 9.6	9 12.3	39 53.4	5 6.8	49 67.1	11 15.1	17 23.3	6 8.2	4 5.5	4 5.5	10 13.7	2 2.7	73 100.0
	4. 70~79歳	11 22.9	17 35.4	3 6.3	6 12.5	24 50.0	3 6.3	32 66.7	6 12.5	6 12.5	5 10.4	4 8.3	7 14.6	1 2.1	2 4.2	48 100.0
	5. 80歳以上	2 16.7	1 8.3	1 8.3	2 16.7	5 41.7	2 16.7	6 50.0	1 8.3	6 50.0	1 8.3	1 8.3	3 25.0	1 8.3	0 0.0	12 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	回答者総数	36 18.7	46 23.8	12 6.2	34 17.6	102 52.8	13 6.7	130 67.4	34 17.6	41 21.2	18 9.3	15 7.8	14 7.3	13 6.7	7 3.6	193 100.0

- ・ 本人との関係別で見ても、どの関係においても「将来の見通しが立てられない」と「心身の疲れ」を挙げる人が多くなっている。

問3 本人との関係 × 問16 家族の苦勞（複数回答3）

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問3	問16	家族の苦勞（複数回答3）													回答者総数	
		1. 社会の誤解や偏見	2. 働く場や訓練の場所がない	3. 住宅条件	4. 自由になる時間が持てない	5. 心身の疲れ	6. 近所付き合い	7. 将来の見通しが立てられない	8. 病状の急変	9. 服薬の継続	10. 乱暴な言動	11. 自傷、自殺などの心配	12. とくになし	13. その他		
本人との関係	1. 夫又は妻	2 22.2	1 11.1	1 11.1	2 22.2	4 44.4	1 11.1	3 33.3	3 33.3	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	9 100.0
	2. 父・母	32 20.0	43 26.9	11 6.9	29 18.1	85 53.1	9 5.6	113 70.6	27 16.9	30 18.8	16 10.0	12 7.5	11 6.9	10 6.3	6 3.8	160 100.0
	3. 子ども	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	4. 兄弟姉妹	2 15.4	1 7.7	0 0.0	1 7.7	7 53.8	0 0.0	8 61.5	2 15.4	4 30.8	1 7.7	0 0.0	2 15.4	3 23.1	0 0.0	13 100.0
	5. その他の親族	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
	6. その他	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	4 66.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7	6 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
回答者総数	36 18.7	46 23.8	12 6.2	34 17.6	102 52.8	13 6.7	130 67.4	34 17.6	41 21.2	18 9.3	15 7.8	14 7.3	13 6.7	7 3.6	193 100.0	

(4) 本人の病状悪化時の苦勞

問17 最近1年間のご本人の病状悪化時に、以下にあげることでご苦勞されたことがありますか。主なものを3つまでお答えください。

- ・ 今回調査では、「症状悪化時の病院への交通手段」が24.9%、「病状の悪化に伴う周囲とのトラブル」が20.7%、「休日・夜間の症状悪化」が19.2%などと続いている。「とくになし」も46.1%を占めている。
- ・ 経年的には、前回調査と比べて、「症状悪化時の病院への交通手段」、「病状の悪化に伴う周囲とのトラブル」、「休日・夜間の症状悪化」、「その他」などの比率が増加し、「とくになし」の比率の減少が見られる。

問17 本人の病状悪化時の苦勞（複数回答3）* (単位:%)

	平成13年	平成18年
本人が受診しない	14.6	16.6
病状の悪化に伴う周囲とのトラブル	16.5	20.7
症状悪化時の病院への交通手段	14.6	24.9
休日・夜間の症状悪化	16.1	19.2
休日・夜間に受診できない	4.3	4.1
とくになし	50.0	46.1
その他	7.9	17.1
不明・無回答	11.0	7.3
合計	135.0	156.0
N	254	193

* 平成13年は、あてはまるものをすべて選択

- ・ 本人との関係別では、どの関係においても「とくになし」の比率が高いが、特に「夫又は妻」の場合は、「病状の悪化に伴う周囲とのトラブル」の比率も高くなっている。

問3 本人との関係 × 問17 本人の病状悪化時の苦勞（複数回答3）

上段：実数(件)
下段：構成比(%)

問3	本人との関係	問17 本人の病状悪化時の苦勞（複数回答3）							不明・無回答	回答者総数
		1. 本人が受診しない	2. 病状の悪化に伴う周囲とのトラブル	3. 症状悪化時の病院への交通手段	4. 休日・夜間の症状悪化	5. 休日・夜間に受診できない	6. とくになし	7. その他		
	1. 夫又は妻	22.2	55.6	22.2	22.2	0.0	44.4	0.0	0.0	9
	2. 父・母	26.3	21.3	24.4	18.8	4.4	46.3	18.1	7.5	160
	3. 子ども	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	2
	4. 兄弟姉妹	23.1	7.7	23.1	15.4	7.7	46.2	23.1	7.7	13
	5. その他の親族	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
	6. その他	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	6
	不明・無回答	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1
	回答者総数	32	40	48	37	8	89	33	14	193
		16.6	20.7	24.9	19.2	4.1	46.1	17.1	7.3	100.0

(5) 福祉施策への要望

問18 あなたは、今後特に強く望みたいことがらがありますか。次のうちから最も近いものを5つまでお答えください。

- ・ 「公的年金等所得保障の充実」が70.5%で最も多く、次いで、「障害のある人の雇用促進」が52.3%、「障害者医療等医療制度の拡充」が37.8%、「精神障害やてんかんへの理解」が34.7%、「障害状況に応じた職業訓練」が33.7%、「各種の相談事業の充実」が31.1%、「障害のある人の権利を守る施策」が30.1%などと続いている。

問18 福祉施策への要望（複数回答5）

（単位：%）

	平成18年
精神障害やてんかんへの理解	34.7
保健所の相談や訪問活動の充実	27.5
各種の相談事業の充実	31.1
医療体制の充実	20.7
障害者医療等医療制度の拡充	37.8
公的年金等所得保障の充実	70.5
住まいの場確保の支援	19.7
日常生活支援の充実	15.5
金銭管理や福祉サービスの利用支援	9.8
ガイドヘルパーなどの充実	10.9
障害状況に応じた職業訓練	33.7
障害のある人の雇用促進	52.3
交通運賃割引制度の充実	17.1
交流活動の充実	8.8
スポーツ、文化活動等への参加	9.3
障害のある人の権利を守る施策	30.1
家族のリフレッシュ事業	19.7
その他	6.2
不明・無回答	0.5
合計	456.0
N	193

- ・ 前回調査の結果を見ると、比率の高い上位3位は「年金制度などの所得保障の充実」、「グループホームなどの住まいの場の確保」、「通所授産施設・共同作業所など働く場の充実」となっており、前々回調査では、「年金制度などの所得保障の充実」、「精神障害やてんかんに対する理解を深める活動」、「交通運賃の割引制度の充実」となっており、所得保障の項目が最も多いことは今回調査も含めてすべて共通している。全体的には、各年度ごとに比率の違いがあるものの、所得保障、住まいの場、働く場、障害に対する理解などの項目の比率が比較的高くなっている。

〈参考資料〉過去の調査
精神保健福祉の分野で望むこと（複数回答3）

（単位：%）

	平成9年	平成13年
精神障害やてんかんに対する理解を深める活動	33.3	25.6
保健所の相談や訪問活動の充実	14.1	18.1
救急医療などの医療体制の充実	18.7	24.0
年金制度などの所得保障の充実	54.5	48.0
ホームヘルパーの派遣など日常生活支援の充実	16.2	19.3
グループホームなど住まいの場の確保	22.7	31.1
通所授産施設・共同作業所など働く場の充実	24.7	29.1
働くための職業訓練施設の充実	25.3	26.4
交通運賃の割引制度の充実	32.3	14.6
仲間やボランティア近隣の人達との交流活動の充実	17.2	16.1
とくになし	1.0	3.1
その他	3.0	2.8
不明・無回答	-	3.9
合計	263.1	262.2
N	198	254

- ・ 家族の年齢別では、どの年齢層においても「障害のある人の雇用の促進」や「公的年金等所得保障の充実」の比率が高くなっている。

問2 家族の年齢 × 問18 福祉施策への要望（複数回答5）

問18	福祉施策への要望〈複数回答5〉										
	1. 精神障害やてんかんへの理解	2. 保健所の相談や訪問活動の充実	3. 各種の相談事業の充実	4. 医療体制の充実	5. 障害者医療等医療制度の拡充	6. 公的年金等所得保障の充実	7. 住まいの場の確保の支援	8. 日常生活支援の充実	9. 金銭管理や福祉サービスの利用支援	10. ガイドヘルパーなどの充実	
問2											
家族の年齢	1. 1～49歳	8 30.8	4 15.4	7 26.9	9 34.6	6 23.1	21 80.8	2 7.7	6 23.1	3 11.5	6 23.1
	2. 50～59歳	13 39.4	5 15.2	11 33.3	8 24.2	11 33.3	22 66.7	5 15.2	3 9.1	3 9.1	1 3.0
	3. 60～69歳	27 37.0	23 31.5	18 24.7	14 19.2	30 41.1	49 67.1	18 24.7	8 11.0	8 11.0	10 13.7
	4. 70～79歳	18 37.5	16 33.3	19 39.6	8 16.7	20 41.7	34 70.8	8 16.7	8 16.7	4 8.3	4 8.3
	5. 80歳以上	1 8.3	5 41.7	5 41.7	1 8.3	6 50.0	9 75.0	4 33.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	回答者総数	67 34.7	53 27.5	60 31.1	40 20.7	73 37.8	136 70.5	38 19.7	30 15.5	19 9.8	21 10.9

上段：実数（件）
下段：横構成比（%）

問18	福祉施策への要望〈複数回答5〉									回答者総数	
	11. 障害状況に応じた職業訓練	12. 障害のある人の雇用促進	13. 交通運賃割引制度の充実	14. 交流活動の充実	15. スポーツ、文化活動等への参加	16. 障害のある人の権利を守る施策	17. 家族のリフレッシュ事業	18. その他	不明・無回答		
問2											
家族の年齢	1. 1～49歳	4 15.4	16 61.5	0 0.0	0 0.0	2 7.7	4 15.4	2 7.7	3 11.5	0 0.0	26 100.0
	2. 50～59歳	13 39.4	23 69.7	3 9.1	6 18.2	6 18.2	14 42.4	8 24.2	1 3.0	0 0.0	33 100.0
	3. 60～69歳	30 41.1	35 47.9	13 17.8	8 11.0	6 8.2	20 27.4	16 21.9	7 9.6	0 0.0	73 100.0
	4. 70～79歳	17 35.4	22 45.8	14 29.2	2 4.2	4 8.3	13 27.1	9 18.8	1 2.1	1 2.1	48 100.0
	5. 80歳以上	1 8.3	5 41.7	3 25.0	0 0.0	0 0.0	6 50.0	3 25.0	0 0.0	0 0.0	12 100.0
	不明・無回答	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
	回答者総数	65 33.7	101 52.3	33 17.1	17 8.8	18 9.3	58 30.1	38 19.7	12 6.2	1 0.5	193 100.0

第9章 精神障害者生活状況調査（家族）結果

- ・ 本人との関係では、いずれも回答者数が少ないが、おおむねどの関係においても「公的年金等所得保障の充実」の比率が高くなっている。

問3 本人との関係 × 問18 福祉施策への要望（複数回答5）

問3	問18 福祉施策への要望（複数回答5）									
	1. 精神障害やてんかんへの理解	2. 保健所の相談や訪問活動の充実	3. 各種の相談事業の充実	4. 医療体制の充実	5. 障害者医療等医療制度の拡充	6. 公的年金等所得保障の充実	7. 住まいの場の確保	8. 日常生活支援の充実	9. 金銭管理や福祉サービスの利用支援	10. ガイドヘルパーなどの充実
本人との関係	4	2	1	3	4	9	1	1	0	0
1. 夫又は妻	44.4	22.2	11.1	33.3	44.4	100.0	11.1	11.1	0.0	0.0
2. 父・母	56	45	51	32	60	109	33	22	14	19
	35.0	28.1	31.9	20.0	37.5	68.1	20.6	13.8	8.8	11.9
3. 子ども	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0
	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
4. 兄弟姉妹	4	4	4	3	8	10	2	4	3	1
	30.8	30.8	30.8	23.1	61.5	76.9	15.4	30.8	23.1	7.7
5. その他の親族	1	0	1	1	0	2	0	0	1	1
	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0
6. その他	2	1	2	1	0	4	1	1	1	0
	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0	66.7	16.7	16.7	16.7	0.0
不明・無回答	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
回答者総数	67	53	60	40	73	136	38	30	19	21
	34.7	27.5	31.1	20.7	37.8	70.5	19.7	15.5	9.8	10.9

問3 本人との関係 × 問18 福祉施策への要望（複数回答5）

上段：実数（件）
下段：構成員比（%）

問3	問18 福祉施策への要望（複数回答5）									
	11. 障害状況に応じた職業訓練	12. 障害のある人の雇用促進	13. 交通運賃割引制度の充実	14. 交流活動の充実	15. スポーツ、文化活動等への参加	16. 障害のある人の権利を守る施策	17. 家族のリフレッシュ事業	18. その他	不明・無回答	回答者総数
本人との関係	2	3	2	1	1	2	2	1	0	9
1. 夫又は妻	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	11.1	0.0	100.0
2. 父・母	62	89	27	15	13	51	34	9	1	160
	38.8	55.6	16.9	9.4	8.1	31.9	21.3	5.6	0.6	100.0
3. 子ども	0	1	2	0	0	1	1	0	0	2
	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
4. 兄弟姉妹	0	3	2	0	2	2	1	2	0	13
	0.0	23.1	15.4	0.0	15.4	15.4	7.7	15.4	0.0	100.0
5. その他の親族	0	1	0	0	2	0	0	0	0	2
	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
6. その他	1	4	0	0	0	1	0	0	0	6
	16.7	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
回答者総数	65	101	33	17	18	58	38	12	1	193
	33.7	52.3	17.1	8.8	9.3	30.1	19.7	6.2	0.5	100.0